

## 【国語－１】

実践事例：小学校１年生 ／実施機関：栃木市教育委員会

### ●教科における学習上の予想されるつまずくポイント

- ・文章を読んで理解すること。
- ・読み取ったことを書き写すこと。
- ・考えたことを作文すること。
- ・登場人物の心情を想像すること。
- ・正確に音読すること。

### 【指導例】

#### 1. 対象とした児童生徒の実態

##### (1) 対象の障害

自閉症（可能性） 情緒障害 LD（学習障害） ADHD（注意欠陥/多動性障害）

その他

##### (2) 子供の困難さ

見ること 聞くこと 話すこと 読むこと 書くこと 動くこと

コミュニケーションをすること 気持ちを表現すること

落ち着くこと・集中すること 概念（時間、大きさ等）を理解すること

学習（計算、推論等）すること その他

平仮名を読んだり丁寧に書いたりすることができ、数の概念を理解しているが、語彙が少なく、文章を読んで理解することが難しい。興味の幅が狭く、学習内容に対して興味を示すことが少ない。自分から友達にかかわろうとしたり会話したりすることが苦手である。

#### 2. 教科における学習上のつまずきを把握するための方策

##### (1) 実態把握の時期

令和元年6、7月

##### (2) 実態把握の方法（実施者・方法）

「行動チェック&支援シート」（担任、アセスメント協力員）

行動観察（担任、アセスメント協力員、教科教育スーパーバイザー）

#### 3. 指導内容

##### (1) 教科における学習上のつまずきの内容

ア. 言葉遊びのルールを教科書を読んで理解することが難しい。

イ. 語彙が少なく、言葉遊びを楽しむことが難しい。

ウ. 友達と一緒に言葉遊びを楽しむことが難しい。

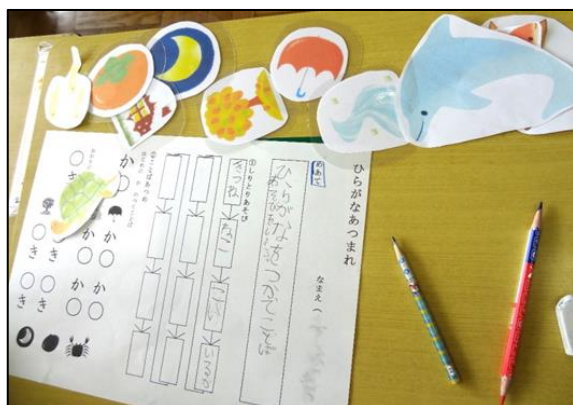
(2) つまずいている背景・原因

- ア. 語彙が少ない
- イ. 友達とのかかわりや会話でのやり取りに興味を示していない。

(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

- ア. 言葉遊びのルールや活動の流れが理解できるように、ワークシートの構造化や遊びのシュミレーションを行う。
- イ. 語彙を増やして、言葉遊びを楽しむことができるように絵カードや動作化を取り入れる。
- ウ. 安心して友達と活動することができるよう、座席を意図的に配置し、同じペアで活動を繰り返し行う。



イ 絵カードをヒントに言葉遊び



ウ 座席の意図的配置

(4) (3) の効果・評価 (児童生徒の様子や変容および授業の評価)

- ア. 教科書を読むだけでは理解が難しかったが、構造化したワークシートや遊びのシュミレーションを行うことで、意味を理解して活動に楽しく参加することができた。
- イ. 絵カードを使ったり動作化を取り入れたりして言葉の意味を習得することで、楽しそうに活動に参加することができ、ワークシートにも記入することができた。
- ウ. 意図的座席配置により、安心して話し合うことができていた。

## 【国語－２】

実践事例：小学校２年生 ／実施機関：栃木市教育委員会

### ●教科における学習上の予想されるつまずくポイント

- ・文章を読んで理解すること。
- ・読み取ったことを書き写すこと。
- ・考えたことを作文すること。
- ・登場人物の心情を想像すること。
- ・正確に音読すること。

### 【指導例】

#### 1. 対象とした児童生徒の実態

##### (1) 対象の障害

- 自閉症 情緒障害 LD（学習障害） ADHD（注意欠陥/多動性障害）  
その他

##### (2) 子供の困難さ

- 見ること 聞くこと 話すこと 読むこと 書くこと 動くこと  
コミュニケーションをすること 気持ちを表現すること  
落ち着くこと・集中すること 概念（時間、大きさ等）を理解すること  
学習（計算、推論等）すること その他

上下逆などの鏡文字が見られる。周囲の環境からの刺激（音など）が気になってしまい、集中できないことがある。音読はできるようになってきたが、内容を理解することが難しい。1対1でのやり取りでは話の内容を聞いて理解しているが、語彙が少ないため、言葉が出てこないことがある。

#### 2. 教科における学習上のつまずきを把握するための方策

##### (1) 実態把握の時期

令和元年6、7、9月

##### (2) 実態把握の方法（実施者・方法）

「行動チェック&支援シート」（担任、アセスメント協力員）

多層指導モデルMIM（担任）

行動観察（担任、アセスメント協力員、教科教育スーパーバイザー）

#### 3. 指導内容

##### (1) 教科における学習上のつまずきの内容

ア. スムーズに音読することが難しい。

イ. 説明文教材「じどうしゃくらべ」において、「しごと」と「つくり」を文章から読み取るのが難しい。

ウ. 書くことが特に苦手なため「しごと」と「つくり」を読み取って書き写すことが難しく、集中力が持続しない。

(2) つまづいている背景・原因

ア. 形を正確に捉えたり記憶したりする力が弱い。

イ. 語彙が少ない。

ウ. 目と手の協応動作が難しい。

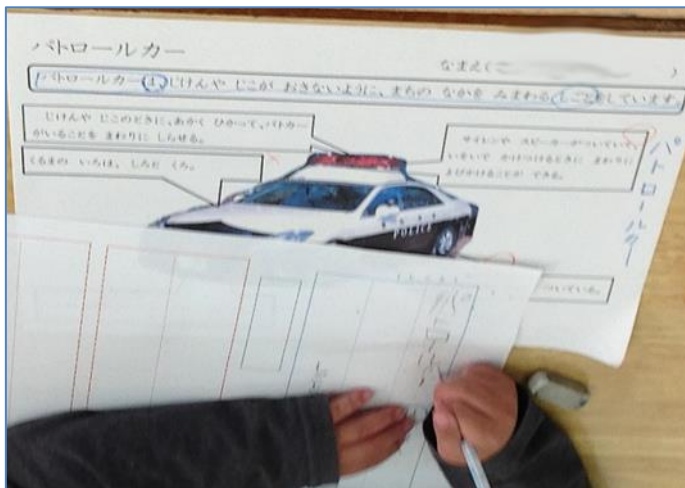
(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

ア. 担任の範読や友達の音読の音声を手掛かりにして音読させる。

イ. 写真を手掛かりに「しごと」と「つくり」について具体的なイメージを持たせながら文章を読ませる。

ウ. 「しごと」と「つくり」について読み取ったことに色別で補助線を引き、ワークシートの同色の枠内に記入できるようにする。



イ 写真を手掛かりにできるワークシート



ウ 色で板書とノートのマッチング

(4) (3) の効果・評価 (児童生徒の様子や変容および授業の評価)

ア. 自動車の教材に興味を示し、進んで「しごと」や「つくり」を見つけ出そうとしていた。

イ. 読み取った文章と枠内に書き写す作業を同色の囲み枠にすることで、表記の間違いを減らすことができた。また、文字を探すことが苦手でも色別に補助線を引いておくことで見つけやすくなり、すすんで書くことができた。

## 【国語－3】

実践事例：小学校3年生 / 実施機関：栃木市教育委員会

### ●教科における学習上の予想されるつまずくポイント

- ・文章を読んで理解すること。
- ・読み取ったことを書き写すこと。
- ・考えたことを作文すること。
- ・登場人物の心情を想像すること。
- ・正確に音読すること。

### 【指導例】

#### 1. 対象とした児童生徒の実態

##### (1) 対象の障害

- 自閉症 情緒障害 LD（学習障害） ADHD（注意欠陥/多動性障害）  
その他

##### (2) 子供の困難さ

- 見ること 聞くこと 話すこと 読むこと 書くこと 動くこと  
コミュニケーションをすること 気持ちを表現すること  
落ち着くこと・集中すること 概念（時間、大きさ等）を理解すること  
学習（計算、推論等）すること その他

自分の考えや思いを文字にして表すのが難しく、文を書くことを苦手とするので、書くことに抵抗を覚えて意欲的に取り組むことが難しい。「を」と「お」、「は」と「わ」を正しく使い分けることが難しい。音読は、言葉や文節の切れ目を考えて読むことができず、内容を読み取ることが難しい。授業に集中するのが苦手で、授業には参加しているが指名されても、質問の内容や音読している場所が分からないことがある。

#### 2. 教科における学習上のつまずきを把握するための方策

##### (1) 実態把握の時期

令和元年6、7、9月

##### (2) 実態把握の方法（実施者・方法）

「行動チェック&支援シート」（担任、アセスメント協力員）

多層指導モデルMIM（担任）

行動観察（担任、アセスメント協力員、教科教育スーパーバイザー）

#### 3. 指導内容

##### (1) 教科における学習上のつまずきの内容

- ア. 板書を書き写すことが難しい。  
イ. 作文することが難しい。

ウ. 修飾語をどのように使って文を組み立ててよいのか理解することが難しい。

(2) つまづいている背景・原因

ア. 基礎的な語彙力が不足している。

イ. 音と文字の形を結びつけて正しく記憶することが難しい。

(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

ア. 板書を簡潔にし、文字を書くことの抵抗を減らす。

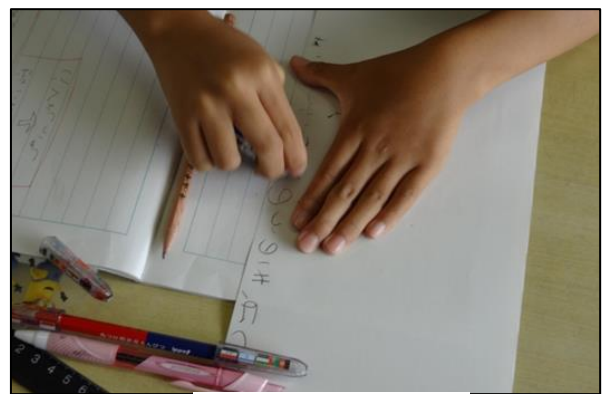
イ. 板書をノートに写す際の誤記を減らすために、マス目黒板を使用し、行数や文字数を分かりやすいように板書する。

ウ. 文を詳しくする言葉を書いた短冊を用意し、黒板に掲示する。そこから言葉を選んで書けるようにする。

エ. 考えを整理して文章化するために、一度声に出してから書かせる。



イ マス目黒板の使用



ウ 短冊の使用

(4) (3) の効果・評価（児童生徒の様子や変容および授業の評価）

ア. マス目黒板に板書をしたことにより、行や文字数が分かりやすくなり、ノートへの誤記が減少した。

イ. 考えたことを一度声に出してみるように促すと、声に出しながら文の構造を整えてノートに書き始めることができていた。

## 【国語－４】

実践事例：小学校４年生 ／実施機関：栃木市教育委員会

### ●教科における学習上の予想されるつまづくポイント

- ・文章を読んで理解すること。
- ・読み取ったことを書き写すこと。
- ・考えたことを作文すること。
- ・登場人物の心情を想像すること。
- ・正確に音読すること。

### 【指導例】

#### 1. 対象とした児童生徒の実態

##### (1) 対象の障害

- 自閉症 情緒障害 LD(学習障害)の可能性 ADHD(注意欠陥/多動性障害)  
その他

##### (2) 子供の困難さ

- 見ること 聞くこと 話すこと 読むこと 書くこと 動くこと  
コミュニケーションをすること 気持ちを表現すること  
落ち着くこと・集中すること 概念(時間、大きさ等)を理解すること  
学習(計算、推論等)すること その他

かな文字書字の習得に困難が見られる。「お」と「を」、「は」と「わ」の使い分けが難しい。既習漢字の使用が少なく、送り仮名の間違いや誤字が多い。語彙が少なく表現力や表情の変化が乏しい。長文を読むことに抵抗があり、集中が持続しない。自分の考えをノートに書いたり、板書を写したりすることが苦手である。

#### 2. 教科における学習上のつまづきを把握するための方策

##### (1) 実態把握の時期

令和元年6、7、9月

##### (2) 実態把握の方法(実施者・方法)

「行動チェック&支援シート」(担任、アセスメント協力員)

「読み書きスクリーニングテスト」(担任、アセスメント協力員)

行動観察(担任、アセスメント協力員、教科教育スーパーバイザー)

#### 3. 指導内容

##### (1) 教科における学習上のつまづきの内容

- ア. 文学的文章教材の主人公の心情を叙述から読み取ることが難しい。  
イ. 読み取ったことを書いて表現することが難しい。

(2) つまづいている背景・原因

- ア. 語彙力が不足している。
- イ. 形を正確に捉えたり記憶したりすることが難しい。
- ウ. 目と手の協応動作が苦手である。

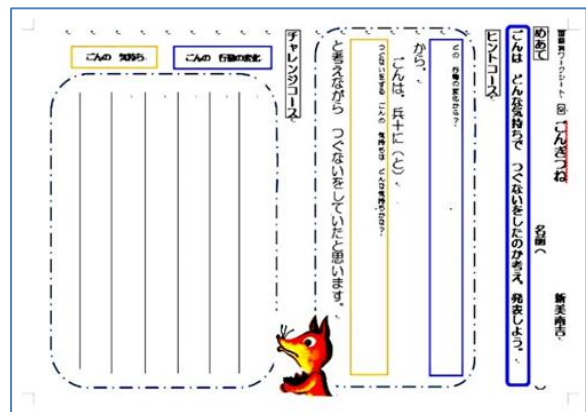
(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

- ア. 挿絵や動作を手掛かりに心情を考えさせる。
- イ. 心情の変化が分かる行動描写を短く箇条書きにしたものを提示する。
- ウ. 書く作業の負担を軽減するために、ワークシートの穴埋め式のものを用意し、罫線のものとは2種類から選択できるようにする。



ア 動作化による心情理解



ウ 穴埋めと罫線から選択できるワークシート

(4) (3) の効果・評価 (児童生徒の様子や変容および授業の評価)

- ア. 主人公のお面や道具を利用して行動を動作化することで、意欲的に活動することができた。文章だけでは理解できずに授業に参加できなかった対象児童が、その後も進んで考えようとする姿が見られた。
- イ. 書くことに抵抗があった対象児童だが、自ら穴埋め式を選択し、すすんで取り組もうとする様子が見られた。



## 【国語－５】

実践事例：小学校５年生 ／実施機関：栃木市教育委員会

### ●教科における学習上の予想されるつまずくポイント

- ・文章を読んで理解すること。
- ・読み取ったことを書き写すこと。
- ・考えたことを作文すること。
- ・登場人物の心情を想像すること。
- ・正確に音読すること。

### 【指導例】

#### 1. 対象とした児童生徒の実態

##### (1) 対象の障害

■自閉症の可能性 □情緒障害 ■LD（学習障害）可能性 □ADHD（注意欠陥/多動性障害） □その他

##### (2) 子供の困難さ

□見ること □聞くこと ■話すこと ■読むこと □書くこと □動くこと  
■コミュニケーションをすること □気持ちを表現すること  
□落ち着くこと・集中すること □概念（時間、大きさ等）を理解すること  
□学習（計算、推論等）すること □その他

教科書をスムーズに音読することが難しい。話すことは好きだが、自分の考えを言葉でまとめて順序良く話すことが苦手で、思いついたことを取り留めもなく話す。友達同士でコミュニケーションをとることが難しく、相手の気持ちや立場を理解したりすることが苦手である。

#### 2. 教科における学習上のつまずきを把握するための方策

##### (1) 実態把握の時期

令和元年6、7月

##### (2) 実態把握の方法（実施者・方法）

「行動チェック&支援シート」（担任、アセスメント協力員）

多層指導MIM（担任、アセスメント協力員）

行動観察（担任、アセスメント協力員）

#### 3. 指導内容

##### (1) 教科における学習上のつまずきの内容

- ア. 音読の際に周囲とペースを合わせて読むことが難しい。
- イ. 文学的文章教材で登場人物の心情を理解することが難しい。

(2) つまずいている背景・原因

- ア. 漢字を読んだり長文を目で追ったりすることが苦手である。
- イ. 推論が苦手である。

(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

- ア. 教科書の他に、文章を分かち書きにして漢字に振り仮名を振った本文を用意しておき、使用したいものを選択させる。
- イ. 心情の変化が視覚的に理解できるようなワークシートを用意する。
- ウ. 友達の考えを共有しやすくするために、自分の考えを書いたミニホワイトボードを黒板に提示して、常に確認できるようにする。

(4) (3) の効果・評価（児童生徒の様子や変容および授業の評価）

- ア. 対象児童は、事前に振り仮名付きの本文を使用して音読練習をしてきたことで、授業中にも自信を持って音読することができた。
- イ. 音読を繰り返し練習したことで、自分なりに読み取りができ、授業中に自信を持って発言することができた。
- ウ. ホワイトボードや視覚に訴えるワークシートの活用により、積極的に発言して考えを深めることができた。

## 【算数－１】

実践事例：小学校１年生 ／実施機関：栃木市教育委員会

### ●教科における学習上の予想されるつまずくポイント

- ・ 足し算の繰り上がりの計算方法を考えること。
- ・ 文章問題を理解し、立式すること。
- ・ 三角形の図形の特徴を理解すること。
- ・ 資料を分類整理し、表やグラフで表したり読み取ったりすること。

### 【指導例】

#### 1. 対象とした児童生徒の実態

##### (1) 対象の障害

- 自閉症  情緒障害  LD (学習障害) の可能性  ADHD (注意欠陥/多動性障害)  
 その他

##### (2) 子供の困難さ

- 見ること  聞くこと  話すこと  読むこと  書くこと  動くこと  
 コミュニケーションをすること  気持ちを表現すること  
 落ち着くこと・集中すること  概念（時間、大きさ等）を理解すること  
 学習（計算、推論等）すること  その他

平仮名を読んだり書いたりすることができ、簡単な文を書くことはできるが、人前で話すことは苦手である。分からないこと、見通しの持てないことに対しての不安が強く、自力解決への意欲が低い。説明を聞いて理解することが難しい。

#### 2. 教科における学習上のつまずきを把握するための方策

##### (1) 実態把握の時期

令和元年6、7、9月

##### (2) 実態把握の方法（実施者・方法）

「行動チェック&支援シート」（担任、アセスメント協力員）

行動観察（担任、アセスメント協力員）

#### 3. 指導内容

##### (1) 教科における学習上のつまずきの内容

- ア. 初見で難しいと思うと、繰り上がりのたし算の計算方法を自力で解決する意欲が持続しない。
- イ. 自分の考えを伝えることが難しい。
- ウ. 全体で考えを共有する場面で、説明を聞いて理解することが難しい。

(2) つまずいている背景・原因

- ア. 見通しを持つことや抽象的なイメージを持つことが難しい。
- イ. 複数の情報を整理したり関連付けたりして論理的に考えることが苦手である。
- ウ. 聴覚のみの情報の理解が難しい。

(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

- ア. 計算の仕方が具体的にイメージできるように、ブロックの操作をしながら計算方法を見出す過程を可視化させ、考えを整理させる。
- イ. 小グループ編成を組んだり、友達の発表を参考にできるように発表の順序に配慮したりし、安心して話せる環境を設定する。
- ウ. 様々な考え方を共有する際に、言葉のみの説明でなく実際にブロックや具体物を操作しながら説明したり、操作の手元をカメラで拡大して見やすく示したりする。



ウ 実物投影機を使用した説明

(4) (3) の効果・評価（児童生徒の様子や変容および授業の評価）

- ア. 自力解決の場面で、ブロックを使って考えようとしていることを肯定することで、安心して取り組むことができていた。ブロック操作で視覚的に計算方法を理解し、ワークシートに自ら考えを書き込むことができた。
- イ. 3人グループで3番目に発表することで、どのように話せばよいか分かり、堂々と話すことができた。
- ウ. 拡大ブロックを操作したり、実物投影機に手元の操作を拡大して投影したりすることで、対象児童が画面に注目する様子が見られ、言語だけでなく視覚的に情報を得ることができた。

## 【算数－２】

実践事例：小学校２年生 ／実施機関：栃木市教育委員会

### ●教科における学習上の予想されるつまずくポイント

- ・ 足し算の繰り上がりの計算方法を考えること。
- ・ 文章問題を理解し、立式すること。
- ・ 三角形の図形の特徴を理解すること。
- ・ 資料を分類整理し、表やグラフで表したり読み取ったりすること。

### 【指導例】

#### 1. 対象とした児童生徒の実態

##### (1) 対象の障害

- 自閉症  情緒障害  LD（学習障害）可能性  ADHD（注意欠陥/多動性障害）  
 その他

##### (2) 子供の困難さ

- 見ること  聞くこと  話すこと  読むこと  書くこと  動くこと  
 コミュニケーションをすること  気持ちを表現すること  
 落ち着くこと・集中すること  概念（時間、大きさ等）を理解すること  
 学習（計算、推論等）すること  その他

注意がそれやすく、行動をする時に本人の中で準備をするのに時間を要する。漢字に苦手意識があり、平仮名と片仮名の弁別も苦手である。二桁の筆算では、位をずらして書いてしまう。作図の時にどこから描いてよいか戸惑うことがある。

#### 2. 教科における学習上のつまずきを把握するための方策

##### (1) 実態把握の時期

令和元年４、５、６月

##### (2) 実態把握の方法（実施者・方法）

「行動チェック&支援シート」（担任、アセスメント協力員）  
多層指導モデルMIM（担任、アセスメント協力員）

#### 3. 指導内容

##### (1) 教科における学習上のつまずきの内容

- ア. 直角を作る作業で形の特徴を捉えることが難しい。
- イ. 説明だけで問題を把握したり手順を理解したりすることが難しい。

##### (2) つまずいている背景・原因

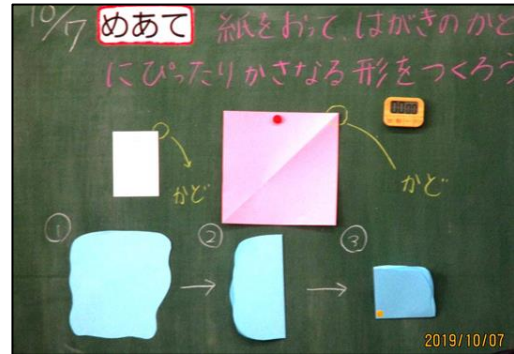
- ア. 細かい部分に注意して見るのが難しい。

- イ. 一度に複数の情報を聞いて理解することが難しい。
- ウ. 集中を持続することが難しい。

(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

- ア. 拡大折り紙を使用して説明することで、注目させたい直角の部分をはかりやすく示す。
- イ. 直角を作る作業手順を理解できるようにするために、作業手順が視覚的に確認できるように板書を工夫する。
- ウ. 実物投影機を使って指導者が作業を演示する。
- エ. 一文一動作の指示で、簡潔に示す。



イ 作業手順を見て確認できる板書

(4) (3) の効果・評価（児童生徒の様子や変容および授業の評価）

- ア. 拡大折り紙を使用して注目すべきポイントを押さえることで、対象児童は、本時のねらいからそれずに、角の形に注目して考えることができていた。
- イ. 作業手順が視覚的に確認できる板書や、実物投影機を使用して演示したことで、集中して説明を聞く姿が見られた。
- ウ. 一文一動作の指示を指導者が心掛けることで、対象児童はスムーズに行動することができていた。

### 【算数－3】

実践事例：小学校3年生 / 実施機関：栃木市教育委員会

#### ●教科における学習上の予想されるつまづくポイント

- ・ 足し算の繰り上がりの計算方法を考えること。
- ・ 文章問題を理解し、立式すること。
- ・ 三角形の図形の特徴を理解すること。
- ・ 資料を分類整理し、表やグラフで表したり読み取ったりすること。

#### 【指導例】

##### 1. 対象とした児童生徒の実態

###### (1) 対象の障害

- 自閉症  情緒障害  LD（学習障害）  ADHD（注意欠陥/多動性障害）  
 その他

###### (2) 子供の困難さ

- 見ること  聞くこと  話すこと  読むこと  書くこと  動くこと  
 コミュニケーションをすること  気持ちを表現すること  
 落ち着くこと・集中すること  概念（時間、大きさ等）を理解すること  
 学習（計算、推論等）すること  その他

特に漢字を書くことが苦手であり、ノートの行に収まらずに文字を書く。ルールを守ることができるが、物事に柔軟に対応することが苦手である。見に見えないことや動きをイメージすることが苦手である。

##### 2. 教科における学習上のつまづきを把握するための方策

###### (1) 実態把握の時期

令和元年4、5、6月

###### (2) 実態把握の方法（実施者・方法）

「行動チェック&支援シート」（担任、アセスメント協力員）

「読み書きスクリーニングテスト」（担任）

心理検査（臨床心理士）

##### 3. 指導内容

###### (1) 教科における学習上のつまづきの内容

ア. 学習課題を捉える場面で言葉のみの説明では理解が難しい。

イ. 三角形を仲間分けする場面で何を手掛かりに仲間分けをしたらよいかを理解できない。

(2) つまづいている背景・原因

- ア. 聴覚情報による記憶が苦手である。
- イ. 推論することが苦手である。
- ウ. 視覚と運動の協応動作が難しい。

(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

- ア. 三角形の辺の長さに着目して特徴を捉えることができるように、長さの違いを色別に示した棒を使用して三角形を作るようにする。
- イ. 学習のめあてや、三角形の仲間分けのポイントが書かれたワークシートを手掛かりにさせる。
- ウ. グループ活動を設定し、友達の作業の様子を見ることで活動内容や考え方を参考にさせる。



ア 長さの違いを色別に示した棒



ウ グループ活動の設定

(4) (3) の効果・評価（児童生徒の様子や変容および授業の評価）

- ア. 色棒の使用により、辺の長さの違いに着目し、自らの力で三角形の特徴を捉えて分類しようとすることができた。
- イ. 自力解決が難しい時は、グループ内で相談しながら進め、主体的に解決しようとする姿が見られた。
- ウ. 書くことは苦手意識があるが、分かったことを自分なりにワークシートに記入することができた。



## 【算数－４】

実践事例：小学校４年生 ／実施機関：栃木市教育委員会

### ●教科における学習上の予想されるつまずくポイント

- ・ 足し算の繰り上がりの計算方法を考えること。
- ・ 文章問題を理解し、立式すること。
- ・ 三角形の図形の特徴を理解すること。
- ・ 資料を分類整理し、表やグラフで表したり読み取ったりすること。

### 【指導例】

#### 1. 対象とした児童生徒の実態

##### (1) 対象の障害

- 自閉症 情緒障害 LD（学習障害） ADHD（注意欠陥/多動性障害）  
その他

##### (2) 子供の困難さ

- 見ること 聞くこと 話すこと 読むこと 書くこと 動くこと  
コミュニケーションをすること 気持ちを表現すること  
落ち着くこと・集中すること 概念（時間、大きさ等）を理解すること  
学習（計算、推論等）すること その他

読み・書き・計算が得意であり理解力もあるが、気になるものがあるとそちらに気が向いてしまい、課題に取り組めないことがある。聞き漏らしによりグループ活動時に違う行動をとり、参加できないことがある。読書が好きで読解力はあるが、字を書くと誤記が多い。

#### 2. 教科における学習上のつまずきを把握するための方策

##### (1) 実態把握の時期

令和元年6、7月

##### (2) 実態把握の方法（実施者・方法）

「行動チェック&支援シート」（担任、アセスメント協力員）  
行動観察（担任、アセスメント協力員、教科教育スーパーバイザー）  
学習実態アンケート（担任）

#### 3. 指導内容

##### (1) 教科における学習上のつまずきの内容

- ア. 授業時間中、課題解決に向けて集中力を持続させることが難しい。  
イ. 資料を整理して分類する際に、表の項目を間違えたり、数を数え間違えたりする。

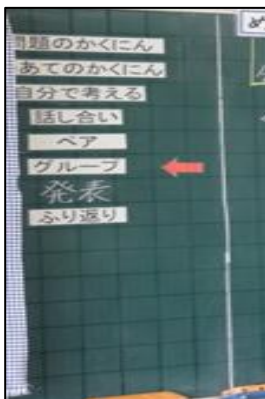
(2) つまずいている背景・原因

- ア. 注意集中の持続が難しい。
- イ. 細かい部分に気を付けて作業することが苦手である。

(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

- ア. 興味関心のある内容を調べる課題を設定する。
- イ. 本時の学習活動の流れを板書に示し、見通しを持たせる。
- ウ. 不必要な情報をカーテン等で遮断する。
- エ. 集計の際に不注意で誤りが起きにくいようにするために、チェックする作業や集計の仕方を分かりやすく示したワークシートを使用する。



イ 学習活動の流れの提示



ウ 不必要な情報の遮断

席番号	出席		出席番号	出席		出席番号	出席	
	先週	今週		先週	今週		先週	今週
1	○	○	11	×	×	21	○	○
2	○	○	12	-	-	22	○	×
3	○	○	13	○	○	23	×	×
4	○	×	14	○	○	24	×	○
5	×	×	15	○	×	25	×	×
6	○	○	16	×	×	26	×	×
7	-	-	17	○	○	27	×	○
8	○	○	18	○	×	28	×	×
9	○	○	19	×	×	29	○	○
10	○	○	20	○	×	30	○	○
						31	×	×

今週  
集計  
先週 集りた ○ 正 集りていない ×

エ 不注意を回避する工夫等の設定

(4) (3) の効果・評価（児童生徒の様子や変容および授業の評価）

- ア. 図書室の利用状況を調べる課題を設定したことで、課題意識をもって意欲的に取り組むことができた。
- イ. 黒板に活動の流れを示しておくことで、今何をするのかや、この後何をするのかを確認する様子が見られた。ゴールが明確になることで、最後まで取り組もうとすることができた。
- ウ. チェック作業や「正」の字で数えることで間違いにくくなることを実感することができていた。

## 【算数－５】

実践事例：小学校５年生 ／実施機関：栃木市教育委員会

### ●教科における学習上の予想されるつまづくポイント

- ・ 足し算の繰り上がりの計算方法を考えること。
- ・ 文章問題を理解し、立式すること。
- ・ 三角形の図形の特徴を理解すること。
- ・ 資料を分類整理し、表やグラフで表したり読み取ったりすること。

### 【指導例】

#### 1. 対象とした児童生徒の実態

##### (1) 対象の障害

- 自閉症 可能性  情緒障害  LD (学習障害)  ADHD (注意欠陥/多動性障害)  
 その他

##### (2) 子供の困難さ

- 見ること  聞くこと  話すこと  読むこと  書くこと  動くこと  
 コミュニケーションをすること  気持ちを表現すること  
 落ち着くこと・集中すること  概念（時間、大きさ等）を理解すること  
 学習（計算、推論等）すること  その他

集中して話を聞くことが難しく、着席していても体が動いていることが多い。基礎的な計算問題に取り組むことができるが、複雑な問題になると根気強く解決しようとするのが難しい。自分の気持ちを表現することが苦手で、グループ活動より個人で単純作業をすることを好む。特定の友達とは交流することができる。

#### 2. 教科における学習上のつまづきを把握するための方策

##### (1) 実態把握の時期

令和元年6、7月

##### (2) 実態把握の方法（実施者・方法）

「行動チェック&支援シート」（担任、アセスメント協力員）  
行動観察（担任、アセスメント協力員、教科教育スーパーバイザー）  
学習実態アンケート（担任）

#### 3. 指導内容

##### (1) 教科における学習上のつまづきの内容

- ア. 学習課題を捉える場面で、注意して説明を聞くことが難しく、課題を理解できない。  
イ. 既習事項をもとに分数の計算の仕方を導き出そうとすることが難しい。

(2) つまずいている背景・原因

- ア. 注意集中の持続が難しい。
- イ. 論理的思考が難しい。

(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

- ア. 教科書の拡大コピーを掲示し、文章から解決に必要な情報を色で強調して確認する。
- イ. 計算方法を全体で共有する際に、言葉での説明のほかにホワイトボードを活用して図や絵を提示する。
- ウ. 信頼関係にある友達を同じグループにした意図的編成のもと、グループで相談しながら解決できるようにする。

(4) (3) の効果・評価（児童生徒の様子や変容および授業の評価）

- ア. 問題解決に必要な情報を色で注目させたり、ホワイトボードを活用して発表させたりすることで、これまで集中して話を聞くことが難しかった対象児童だが、図や式に注目しながら発表を聞くことができていた。
- イ. 意図的なグループ編成により、疑問に感じたことを自ら友達に聞きながら解決しようとしていた。

## 【数学】

実践事例：中学校 1 年生 / 実施機関：栃木市教育委員会

### ●教科における学習上の予想されるつまずくポイント

- ・既に学習した計算方法と関連付けて、新しく導入された数や文字を用いた式の計算の方法を考察すること。
- ・自分の考えを言葉で伝えたり友達の考えを聞いたりして考えを深めること。
- ・新たな解決方法を求められる問題では、できないことへの不安が強いため、自力解決をあきらめてしまう。

### 【指導例】

#### 1. 対象とした児童生徒の実態

##### (1) 対象の障害

- 自閉症 □情緒障害 □LD (学習障害) □ADHD (注意欠陥/多動性障害)
- その他

##### (2) 子供の困難さ

- 見ること □聞くこと □話すこと □読むこと □書くこと □動くこと
- コミュニケーションをすること ■気持ちを表現すること
- 落ち着くこと・集中すること □概念(時間、大きさ等)を理解すること
- 学習(計算、推論等)すること □その他

真面目な学習態度で、基礎的な解法を理解すると繰り返し問題に取り組むことができるが、応用問題に対しては、既習事項をもとに新たな解決方法を導き出そうとすることが苦手である。常に、授業に対しての緊張状態が高い状態であり、考えを伝える場面ではどう伝えてよいか分らずに不安を示す。さらに周囲ができていて自分へのプレッシャーを感じてしまう。抽象的な物事をイメージすることが苦手である。

#### 2. 教科における学習上のつまずきを把握するための方策

##### (1) 実態把握の時期

5、6月

##### (2) 実態把握の方法(実施者・方法)

「行動チェックリスト」(担任、アセスメント協力員)  
行動観察(担任、教科教育スーパーバイザー)

#### 3. 指導内容

##### (1) 教科における学習上のつまずきの内容

- ア. 数や文字を用いた式の計算方法を考察する場面で、既習事項と関連付けて考えることが難しい。
- イ. 自分の考えを言葉で伝えたり友達の考えを聞いたりして、考えを深めることが難しい。

ウ. 新たな解決方法を求められる問題では、自力解決をあきらめてしまう。

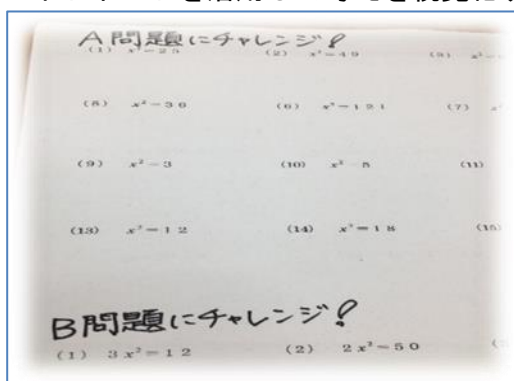
(2) つまずいている背景・原因

- ア 推論することが困難である。
- イ コミュニケーションが苦手で、相手の感情や会話の意図を理解することが難しい。
- ウ 見通しが持てないことへの不安が大きい。

(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

- ア. 問題に意欲的に取り組めるようにするため、対象生徒が身近に感じる題材を扱う。
- イ. 自力解決ができるように、難易度の異なる問題を用意してスモールステップで自力解決していくことで徐々に難易度を上げられるようにする。
- ウ. 自分の考えを安心して伝えることができるようにするため、安心できる意図的グループ編成や、本人のつぶやきを指導者がグループや全体へつなぐ。
- エ. 解決方法をグループで話し合う際に、友達の考えを理解できるようにするため、ホワイトボードを活用して考えを視覚化する。



イ スモールステップで取り組むことができる  
問題用紙

ウ ホワイトボードを活用した学び合い

(4) (3) の効果・評価 (児童生徒の様子や変容および授業の評価)

- ア. 導入では、生徒が身近に感じる問題を提示することで「二次方程式を解きたい」という意欲を高めることができた。
- イ. 自分に適した課題を選択して自力解決することで、意欲的に学習することができていた。
- ウ. 意図的にグループを編成したことで、緊張が緩和されて安心して学習に取り組むことができていた。
- エ. ホワイトボードに書かれた内容を見て、友達の考えを共有していた。
- オ. 授業後のアンケートの結果、対象生徒は「ペア学習やグループ学習で、友人に教えてもらうことができた」、「分からないときに分からないと言えるようになった」、「授業が少し楽しくなった」などと答えていて、ペアやグループ等で効果的な学び合いを行った結果、成長が見られた。

## 【理科－１】

実践事例：小学校３年生 ／実施機関：栃木市教育委員会

### ●教科における学習上の予想されるつまづくポイント

- ・実験の手順や方法を理解すること。
- ・見通しをもって活動すること。
- ・理科用語や抽象的な事象を理解すること。
- ・時間をかけて自然の事物を観察し記録すること。

### 【指導例】

#### 1. 対象とした児童生徒の実態

##### (1) 対象の障害

- 自閉症の可能性
- 情緒障害
- LD(学習障害)
- ADHD(注意欠陥/多動性障害)
- その他

##### (2) 子供の困難さ

- 見ること
- 聞くこと
- 話すこと
- 読むこと
- 書くこと
- 動くこと
- コミュニケーションをすること
- 気持ちを表現すること
- 落ち着くこと・集中すること
- 概念(時間、大きさ等)を理解すること
- 学習(計算、推論等)すること
- その他

普段の授業のほとんどをまじめに受けることはできるが、教室や予定変更などの環境が変わると落ち着きがなくなったり、集中が続かなくなったりすることがある。周囲のペースに合わせることが苦手で行動が遅れがちである。興味のあることは一方的に話し、説明が長くなったり質問からずれたりすることがある。

#### 2. 教科における学習上のつまづきを把握するための方策

##### (1) 実態把握の時期

令和元年5、6月

##### (2) 実態把握の方法(実施者・方法)

- 「行動チェック&支援シート」(担任、アセスメント協力員)
- 「読み書きスクリーニングテスト」(担任、アセスメント協力員)
- 多層指導モデルMIM(担任、アセスメント協力員)

#### 3. 指導内容

##### (1) 教科における学習上のつまづきの内容

- ア. 実験結果を自分の言葉でまとめることが難しい。
- イ. 実験の考察やまとめで「回路」「金属」等の抽象的な用語を理解して使用することが難しい。
- ウ. グループで実験を行う際に活動に参加することが難しい。

(2) つまづいている背景・原因

- ア. 推論することが苦手である。
- イ. 変化に柔軟に適應することが難しい。
- ウ. 相手の行動の意図や感情を理解することが難しい。

(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

- ア. 結果をまとめる際に言語で表現しやすいように、用いる言葉をあらかじめ提示しておく。
- イ. 結果を視覚的に提示する。
- ウ. 実験の手順や役割を事前に明示する。
- エ. つぶやきや関心を示した反応を取り上げて、意欲付けを図る。



(4) (3) の効果・評価（児童生徒の様子や変容および授業の評価）

- ア. 導入時に電気を通すものの性質について予想を立てた際に、対象児童のつぶやきを取り上げたところ、注意が引き付けられ、学習への意欲が高まっていた。さらに、まとめる際には自分の予想と比較してねらいからそれずにまとめることができた。
- イ. 実験結果と結果をまとめる際に使用する用語を黒板に提示したことで、板書を手掛かりに自分の言葉でまとめることができていた。
- ウ. 実験に入る前に実験の手順や役割を明示したことで、納得して役割をこなすことができ、実験の目的を見失わずに取り組むことができた。
- イ. 実験結果とまとめに使う用語の提示



## 【理科－２】

実践事例：小学校４年生 ／実施機関：栃木市教育委員会

### ●教科における学習上の予想されるつまづくポイント

- ・実験の手順や方法を理解すること。
- ・見通しをもって活動すること。
- ・理科用語や抽象的な事象を理解すること。
- ・時間をかけて自然の事物を観察し記録すること。

### 【指導例】

#### 1. 対象とした児童生徒の実態

##### (1) 対象の障害

- 自閉症 可能性 情緒障害 LD（学習障害）可能性 ADHD（注意欠陥/多動性障害）可能性 その他

##### (2) 子供の困難さ

- 見ること 聞くこと 話すこと 読むこと 書くこと 動くこと  
コミュニケーションをすること 気持ちを表現すること  
落ち着くこと・集中すること 概念（時間、大きさ等）を理解すること  
学習（計算、推論等）すること その他

複数の指示や説明を聞いて理解することが苦手で、学習のめあてや手順がつかめずに戸惑ったり、苦手意識から、学習に取り掛かる前に「できない」と諦めてしまったりすることがある。集中力が持続せず、話を最後まで聞いたり、聞いた内容を理解して行動に移したりすることが苦手である。実験の結果を考察したり、抽象的な言葉や説明を理解したりすることが難しい。

#### 2. 教科における学習上のつまづきを把握するための方策

##### (1) 実態把握の時期

令和元年6、7月

##### (2) 実態把握の方法（実施者・方法）

「行動チェック&支援シート」（担任、アセスメント協力員）

「読み書きスクリーニングテスト」（担任、アセスメント協力員）

多層指導モデルMIM（担任、アセスメント協力員）

レディネステスト（担任）

学習アンケート（担任）

#### 3. 指導内容

##### (1) 教科における学習上のつまづきの内容

- ア. 実験の手順について、複雑な方法や複数段階の説明を理解することが難しい。
- イ. 圧縮された空気の体積について、現象を想像することが難しい。

ウ. 実験結果を考察する際に、考えようとするのをあきらめてしまう。

(2) つまづいている背景・原因

- ア. 複数の情報を一度に聞くことが難しい。
- イ. 推論することが苦手である。
- ウ. 抽象的な事柄を想像することが難しい。

(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

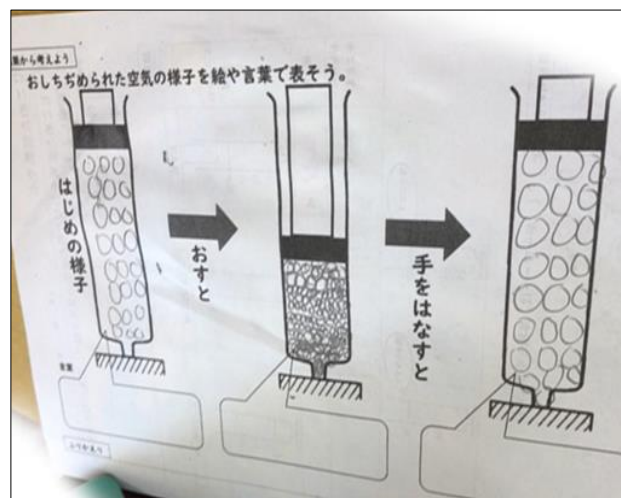
- ア. 実験の手順が理解できるようにするため、図で黒板に明示する。
- イ. 実験器具の操作を理解できるようにするため、実物投影機を使用して指導者が実演する。
- ウ. 見えない空気の圧縮をイメージしやすいように、マシュマロを空気として圧縮の現象を視覚化する。
- エ. 実験結果をまとめたり比較したり、目に見えない空気の様子を理解したりしやすいワークシートを工夫する。



ウ 空気の圧縮を視覚化した実験



ア 実験方法と手順の視覚化



エ 見えない空気の様子を表すワークシート

(4) (3) の効果・評価（児童生徒の様子や変容および授業の評価）

- ア. 実験方法を実演したり、図で示したりすることが対象児童にとって分かりやすかったようで、興味を持って聞き、やり方を理解して実験に臨んでいた。
- イ. マシュマロを使った実験では、大変興味を持ち、率先して実験に取り組んでいた。実際にマシュマロの大きさが変わるのを目にし、驚きの声を上げ、具体的にイメージできている様子だった。
- ウ. 実験結果の考察とまとめでは、分からないことを友達に聞きながらも最後まで自分の考えをワークシートにまとめることができた。

### 【理科－３】

実践事例：小学校５年生 ／実施機関：栃木市教育委員会

#### ●教科における学習上の予想されるつまづくポイント

- ・実験の手順や方法を理解すること。
- ・見通しをもって活動すること。
- ・理科用語や抽象的な事象を理解すること。
- ・時間をかけて自然の事物を観察し記録すること。

#### 【指導例】

##### 1. 対象とした児童生徒の実態

###### (1) 対象の障害

- 自閉症の可能性
- 情緒障害
- LD(学習障害)
- ADHD(注意欠陥/多動性障害)
- その他

###### (2) 子供の困難さ

- 見ること
- 聞くこと
- 話すこと
- 読むこと
- 書くこと
- 動くこと
- コミュニケーションをすること
- 気持ちを表現すること
- 落ち着くこと・集中すること
- 概念(時間、大きさ等)を理解すること
- 学習(計算、推論等)すること
- その他

自分の関心が高いことに関しては、集中力も高く、自分のペースであれば意欲的に取り組むことができるが、興味関心によって集中力に波がある。失敗に対して立ち直るまでに時間を要する。概念や抽象的な説明の理解が難しい。

##### 2. 教科における学習上のつまづきを把握するための方策

###### (1) 実態把握の時期

令和元年6、7月

###### (2) 実態把握の方法(実施者・方法)

「行動チェック&支援シート」(担任、アセスメント協力員)

「読み書きスクリーニングテスト」(担任、アセスメント協力員)

レディネステスト(担任)

学習アンケート

##### 3. 指導内容

###### (1) 教科における学習上のつまづきの内容

ア. 興味関心が低い内容については、集中して取り組むことが難しい。

イ. 自分のペースで作業を行いがちであるため、実験や考察で周囲から進度が遅れてしまう。

ウ. 「ヒトのたんじょう」では、胎児のお腹の中での様子などがイメージしにくい。

(2) つまずいている背景・原因

- ア. 興味に偏りがある。
- イ. 推論することが難しい。
- ウ. 周囲の状況を確認したり推察したりすることが苦手である。

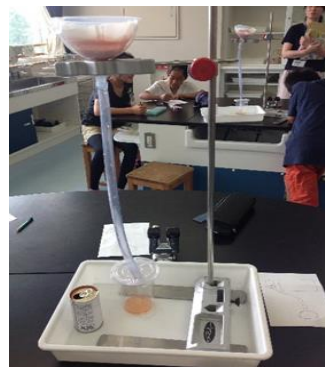
(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

- ア. 導入時に意図的指名を行い、学習内容への関心を引き付ける。
- イ. 胎盤の働きが具体的にイメージできるように、イラストや動画で説明する。
- ウ. 胎盤の働きを、具体物を使用して視覚的に捉えられるようにする。



イ イラストや動画での説明



ウ 胎盤の働きを確認する実験装置

(4) (3) の効果・評価 (児童生徒の様子や変容および授業の評価)

- ア. 授業の導入時に対象児童の発言した内容から本時のねらいにつないだことで、その後も授業に意欲的に参加し、集中力を高めることができた。
- イ. 動画やイラスト等の視覚教材に対して興味を示し、集中して取り組むことができていた。特に実験では、直接目の前で起こる現象に興味を持って観察していた。
- ウ. 母体の血液から栄養が胎児に届く様子を、実験を通して視覚的に捉えることができ、知識として理解していたことを、実感を伴った理解へと深めることができた。

## 【美術】

実践事例：中学校 1 年生 / 実施機関：栃木市教育委員会

### ●教科における学習上の予想されるつまずくポイント

- ・表現したいものの形や色彩をイメージすること。
- ・細部を彩色すること。
- ・色の微妙な変化を感じ取って使い分けること。
- ・長時間を要する作品を制作すること。

### 【指導例】

#### 1. 対象とした児童生徒の実態

##### (1) 対象の障害

- 自閉症 情緒障害 LD（学習障害） ADHD（注意欠陥/多動性障害）可能性  
その他

##### (2) 子供の困難さ

- 見ること 聞くこと 話すこと 読むこと 書くこと 動くこと  
コミュニケーションをすること 気持ちを表現すること  
落ち着くこと・集中すること 概念（時間、大きさ等）を理解すること  
学習（計算、推論等）すること その他

一斉指示のみでは聞き漏らしがあり、理解して行動するまでに時間を要する。板書を写すことや、50分間集中力を持続させることが難しい。細かい作業を正確に行うことが難しい。授業の題材が具体的なものや身近なものであれば、興味を持って授業に取り組めるが、抽象的な表現や内容をイメージすることが難しい。

#### 2. 教科における学習上のつまずきを把握するための方策

##### (1) 実態把握の時期

5、6月

##### (2) 実態把握の方法（実施者・方法）

- ・「行動チェック&支援シート」（担任、アセスメント協力員）
- ・「読み書きスクリーニングテスト」（担任、アセスメント協力員）
- ・行動観察（担任、アセスメント協力員）

#### 3. 指導内容

##### (1) 教科における学習上のつまずきの内容

- ア. 全体指導による説明や指示のみでは、内容や方法を理解することが難しい。
- イ. ポスターカラーの濃度の微調整が難しい。
- ウ. はみ出さないように彩色する作業が難しい。
- エ. どこをどの色で彩色するかイメージを持つことが難しい。
- オ. 単調な作業を継続することが難しい。

(2) つまづいている背景・原因

- ア. 一度に複数の情報を理解することが苦手である。
- イ. 目と手の協応が難しい。
- ウ. 推論することが難しい。
- エ. 集中の持続が難しい。

(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

- ア. 本時ねらいと活動の流れを黒板に示し、見通しを持たせる。
- イ. ポスターカラーの濃度や筆遣いによる彩色の違いについてイメージしやすいように、指導者が実演し視覚的に捉えさせる。
- ウ. 細かい作業が苦手な生徒がはみ出さずに彩色できるように、彩色の手順や使用する筆について個別に説明する。また、できたときには称賛する。
- エ. 活動の途中で他の生徒の作品を参考に鑑賞する時間を設定する。

(4) (3) の効果・評価（児童生徒の様子や変容および授業の評価）

- ア. ねらいと活動の流れを提示することで、何をすることが明確になり、全体の活動の流れにのって見通しをもって参加することができていた。
- イ. ポスターカラーの使い方を机間指導で個別に説明し、目の前で塗ってみせたことで具体的なやり方を理解し、本時の活動を理解することができたようで、活動に集中できていた。
- ウ. 「次はここを塗ってみよう」など、具体的にスモールステップを設けたり、「細かいところがきれいにできたね」など称賛したりしながら本人の意欲を維持したことで、表現する楽しさを感じられたことが、授業の感想に書かれていた。
- エ. 周囲の生徒の制作を見る時間を設けたことで、黒板の見本や周囲の生徒の制作の様子を見てイメージ化することができ、安心して作業に取り組んでいたということが生徒の振り返りに書かれていた。

## 【家庭】

実践事例：小学校5年生 / 実施機関：栃木市教育委員会

### ●教科における学習上の予想されるつまずくポイント

- ・ ミシンに糸を掛ける場面において、手順を把握することができない。
- ・ 切り替えが苦手なため、次の作業にうまく進めない。

### 【指導例1】

#### 1. 対象とした児童生徒の実態

##### (1) 対象の障害

- 自閉症の可能性 情緒障害 LD(学習障害) ADHD(注意欠陥/多動性障害)
- その他

##### (2) 子供の困難さ

- 見ること 聞くこと 話すこと 読むこと 書くこと 動くこと
- コミュニケーションをすること ■気持ちを表現すること
- 落ち着くこと・集中すること ■概念(時間、大きさ等)を理解すること
- 学習(計算、推論等)すること その他

ーマスに一文字ずつ几帳面にノートにメモをとることができるが、こだわりの強さから周囲の動きとは関係なく納得するまで書き続けていて、活動の切り替えが困難である。見通しを持つことが苦手で、初めての事に不安が大きい。

#### 2. 教科における学習上のつまずきを把握するための方策

##### (1) 実態把握の時期

平成30年3月

令和元年6、7月

##### (2) 実態把握の方法(実施者・方法)

心理検査(臨床心理士)

「行動チェック&支援シート」(担任、アセスメント協力員)

「読み書きスクリーニングテスト」(担任、アセスメント協力員)

行動観察(担任、臨床心理士、アセスメント協力員)

#### 3. 指導内容

##### (1) 教科における学習上のつまずきの内容

- ア. ミシンに糸を掛ける場面において、手順を把握することができない。
- イ. 切り替えが苦手なため、次の作業にうまく進めない。

##### (2) つまずいている背景・原因

- ア. 概念化が苦手である。

- イ. 変化に適応しにくい。
- ウ. 文章の意味を推論しながら考えることが苦手である。
- エ. 場面や状態を読み取ったり複数の物の関係を推測したりすることが苦手である。
- オ. 気になることがあると先に進むことが難しい。

(3) (1) に対し実施した指導方法、工夫した点

(i) 授業における全体指導、個への指導について

- ア. 初めての経験による戸惑いを軽減するため、作業の手順やミシンの各部位を写真や板書で提示し、常に確認できるようにする。
- イ. ミシンの操作方法をタブレット動画で視覚的に確認できるようにする。分からないときには何度でも再生することで、安心して学習することができるようにする。
- ウ. グループでの作業分担が分かりやすいようにするため、紅白帽子により色分け表示する。



イ 操作方法を確認できるタブレット動画



ウ 帽子による作業分担の色分け表示

(4) (3) の効果・評価（児童生徒の様子や変容および授業の評価）

- ア. これまで対象児童は初めての経験が苦手で、手縫いの課題に取り組んだ際に作業の進め方が分からず、動けなくなることがあったが、今回は何度も手順を確認できるタブレットや掲示資料などの教材が充実していたことでスムーズに学習することができていた。
- イ. 多人数での実習活動では、動きが理解できずに授業への参加が難しい場合もあったが、グループ編成や帽子による作業分担の表示により、役割や作業手順が一目瞭然であったため、熱心に授業に参加する姿が見られ「次の時間も早くやりたい。」という振り返りの声もあり、児童達の意欲付けにも繋がった。